

# 令和6年度「地域と学校の連携・協働体制推進事業」

## 重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定について

加西市教育委員会

課題の背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
夏季休業中において生徒を対象に実施している地域未来塾では、R5における学習サポーターの確保は目標値に達することができなかつた。R6も同様に学習サポーターの確保が難しいと考えられるため、継続した課題とした。	各学校へ配置されているSA（スクールアシスタント）に1学期中から事業案内し確保に努めるとともに、兵庫教育大学ボランティアステーションにチラシを置き、広く募集を図った。	学習サポーター確保のため、SA（スクールアシスタント）や兵庫教育大学ボランティアステーションに声掛けを行うとともに、R5より導入した学校運営協議会に協力依頼をして、早い段階で学習サポーターの確保に努める。	生徒が必要な学習支援を受けながら自主学習ができる環境を整える。	学習サポーター1人に対する生徒数	21	人	20	15.3	本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した。  1学期の早期から長期休業中の取組について各学校へ案内するとともに、SAの確保に努めた。また、兵庫教育大学ボランティアステーションにも募集チラシを設置してもらい広く呼びかけたこともあり、12名の学習サポーターを確保することができた。そのことにより生徒20人に対して学習サポーター1人の目標を大きく上回り、15.3人に対して1人を配置することができた。  課題としては、夏季休業中の午後2時間（13:00～15:00または13:30～15:30）という勤務条件であるため、継続して参加することができないサポーターがいることが挙げられる。改善を図りたいところではあるが、中学校の部活動との兼ね合いもあり、難しいのが現状である。
土曜日の教育活動は、各種団体と学校が連携して実施している。各プログラムの計画や講師との打ち合わせ、準備物等、各種団体や学校にかかる負担が課題である。	各学校の実情に応じて、年間実施回数を減じるなど負担軽減に努めた。また、事務負担軽減のために、需用費の委託契約を推奨してきた。	活動における需用費について、各種団体と委託契約を結ぶ。	各種団体や学校の負担軽減につなげる。	6校区における土曜日の教育活動において、需用費の委託契約を結んだ校区数	4	校区	6	4	本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。  事務負担軽減による委託契約移行を推奨はしたものの、そこに至らなかった2校区については、従来どおりのやりの方が、負担がなく実施しやすいとの意向から目標達成には至らなかった。ただし、実施回数の見直しにより、各種団体との調整や計画、報告の負担を軽減して実施できたことは成果である。  また、これまでの継続した取組により、学校と各種団体が連携しながら、双方の立ち位置から子ども達を育てる仕組みが整っていることも成果と言える。  課題としては、学校再編（令和8年度から順次予定）による学校統合後の本事業継続が挙げられる。